

LL ニュース

No. 29

October 30, 2004

愛知大学豊橋語学教育研究室

特集 —私がすすめる自習参考書—



EDINBURGH

CONTENTS

◎特集 —私がすすめる自習参考書—

〔英語〕

●大学生のための英語参考書

塚本 倫久	2
(早川 勇)	3
(川端朋広)	3
(磯野 徹)	4
(片岡邦好)	4
(永瀬美智子)	4
(安藤 聡)	5
(三川克俊)	5
(Jon Blundell)	5

〔ドイツ語〕

●最近のドイツ語参考書事情

河合まゆみ	6
(鈴木康志)	6
(今津哲郎)	7
(中村 修)	7

〔フランス語〕

●私のおすすめの自習用参考書

中尾 浩	8
(高橋秀雄)	9
(山口憲男)	9

〔中国語〕

●文法を勉強する楽しさ

自習法とオススメ参考書紹介

塩山正純ほか	10
--------	----

(張 筱平)	10
(高橋めぐみ)	10
(中西千香)	11
(荒川清秀)	11

〔ロシア語〕

●お勧めのロシア語参考書

清水 伸子	12
-------	----

〔韓国・朝鮮語〕

●私がお薦めする参考図書

朴 美姫	13
------	----

〔タイ語〕

●タイ語のオススメ自習参考書

加納 寛	14
------	----

〔日本語〕

●日本語が好きになるために

山本 雅子	16
(中崎温子)	16
(都築順子)	17
下野 正俊	18

◎私の外国語修業時代

◎LL Tea Time

●カナダ留学

瀬口 雄介	19
-------	----

●英国留学

大野 斉子	20
-------	----

●フランス留学体験記

栄嶋 由香	21
-------	----

●中国映画撮影参加記

近藤 誠	22
------	----

◎公開講座「言語」2004プログラム

◎外国語検定試験奨励金制度について

◎3号館 LL 教室での「無線ラン」利用について

英 語

大学生のための英語参考書

国際コミュニケーション学部 塚 本 倫 久

書店に行くと英語の参考書は所狭しと並んでいるが、くれぐれも「3日で話せる」といった誇大広告にのせられて買ってしまうようなことがないようにしたい。外国語の学習は継続的にすることが大切である。ここでは、大学生に役立ちそうな参考書をいくつか取り上げるので、自分の弱点を補い、外国語運用能力の向上、言語文化の考察に役立てば幸いである。

まず総合的な面から役立つ参考書として備えておかなければならないのが辞書である。辞書は定期的に改訂をしているので新しいものを使うのが望ましい。最近は電子辞書を使う学生が多くなっている。英和・和英・英英辞典が入っていて便利であるが紙の辞書と違い、解説全体を一画面に見ることができないのが欠点である。電子辞書を使う場合は意味だけでなく、用例もしっかり確認するようにしたい。語法の説明や用例が充実して発信に役立つ辞書として『ウィズダム英和辞典』（三省堂）、『ジーニアス英和大辞典』（大修館）、英字新聞や雑誌を読むためには『リーダーズ英和辞典』（研究社）、『グランドコンサイス英和辞典』（三省堂）がよいであろう。コミュニケーションのためには *Longman Dictionary of Contemporary English* (Longman) が口語的な例文が豊富に収録されている。和英辞典は『ルミナス和英辞典』（研究社）、『スーパーアンカー和英辞典』（学研）が使いやすい。後者はカタカナ英語に対する注意や「七五三」「風呂敷」など日本文化を英語で紹介する記述が充実している。その他、発信型の表現辞典として『英語表現辞典』（朝日出版社）はアメリカ英語を主体として日常表現を精選していて会話にも作文にも使える辞典として推薦したい。

次に語彙に目を向けよう。日本人学生は日常生活に密着した語彙が少ない傾向がある。そのよう

な語彙を増やすにはケンブリッジ大学出版局からでている *English Vocabulary in Use* のシリーズが役に立つ。レベル別になっているので自分のレベルに合わせてはじめるのがよいだろう。Cooking, Business and finance, Law and order, Transport, Education など各分野の重要語を学び、練習問題も解きながら日常生活語彙が生き生きとした用例とともに身につく構成になっている。self-study use と classroom use があるので、自習用には解答付きの self-study use を購入する必要がある。

リスニングが苦手という学生諸君は多いであろう。検定試験でもリスニングの点数が伸びないという話をよく耳にする。最近はリスニングに関してもよい教材がたくさん出ている。リスニングはある程度まとまった時間継続して集中的に勉強することが必要である。そこで、学習時間を確保し長続きさせるためには通学の電車の中を利用するのもよいかもしれない。まずリスニングが苦手という学生には松本茂著『英語の聴解』（Japan Times）、竹蓋幸生監修『英会話 3 STEP リスニング』（語研）から始めてはどうだろう。前者はゆっくり、やや早め、普通の速さで段階別に聴きながら聞き取りになれていくようになっている。後者は竹蓋氏が開発した3ラウンド・システムによりひとつの教材を断続的に3段階に分けて合計9回学習するシステムによりリスニング能力を高め、TOEIC や TOEFL の準備にも対応できる内容になっている。また少し自信があり、ニュース英語のリスニングを練習したい学生には竹蓋幸生監修『VOA (Voice of America) 英語ニュース 3 STEP リスニング』（語研）がある。

外国語の学習において文法の学習は避けて通れない。発信においても動詞のパターンや使用頻度の高い語彙の使い方をきちんと勉強しておくことが必要になる。この方面の参考書はまだ開発の余地がある分野である。『グランドセンチュリー英和辞典』（三省堂）などの学習英和辞典は動詞、形容詞、名詞のパターンをコラムで丁寧に解説しているので、まずはこのような記述を会話や英作文に活用したい。冠詞や仮定法の使い方など語法上の疑問にはスワン著『オックスフォード実例現代英語用法辞典』（研究

英 語

社)、リーチ他編著『ロングマン実用英文法辞典』(ピアソン・エデュケーション))がわかりやすい用例とともに丁寧に解説してくれる。

最後にリーディングの参考書として行方昭夫著『英文快読術』(岩波書店、同時代ライブラリー)を挙げておこう。日本人の英語学習の問題点は何か、リーディングの能力を高めるにはどのような教材からはじめたらよいか、正確な読解のための具体例と懇切丁寧に解説、長文の味わい方、翻訳法に至るまで読解練習も含めて論じられている。

以上、各先生方からのお薦めの一冊とあわせて参考にしてほしい。

『決定版 英語シャドーイング』

門田修平・玉井健共編、コスモピア

経済学部 早 川 勇

英語を教えていると学生から受ける質問として一番多いのが「英語を話せるになりたいが、どんな勉強をしたらよいですか」という質問です。

この質問を受けると必ず紹介する参考書があります。門田修平・玉井健共編『決定版 英語シャドーイング』(コスモピア、1800円)です。これはシャドーイングの練習方法について書いたものです。この方法は同時通訳を養成する機関において何十年も前から行われてきたものです。シャドーイングとは英米人が話すその後について英語を言う練習法ですが、内容は多様です。

私がこの本をもとに授業で学生に薦めている家庭での練習法を順に示します。1. Listening (1回)→テキストを見ないで話されている内容や話し方の特徴などを大まかにつかむ。2. Slash Listening (1回)→音声聞きながら、テキストの英文の切れ目に斜めの線を書き込む。3. Mumbling (1回以上)→テキストを見ないで音声を聞きながらぶつぶつとつぶやくように発音する。聞こえた音だけでもよいから発音する。4. Synchronized Reading (1回以上)→テキストを見ながら、聞こえてくる音声とほぼ同時

に遅れずに全部口に出して音読する。そして、テキストの内容をしっかりと確認する。5. Shadowing (2回以上)→聞こえてくる音声に対してほぼ同時にあるいは一定の間をおいて発音する。最初は自分の声が邪魔になるが、慣れると気にならない。6. Prosody Shadowing (2回以上)→強弱や音調や速さや息つきなどに特に注意しながら、テキストを見ないで忠実に音声を再現する。7. Contents Shadowing (1回以上)→テキストを見ずに、聞こえてくる英語の内容に焦点をあてながら、シャドウイングをする。

この練習法は直接外国人と英語で話しあうわけではありませんが、英会話の練習には不可欠です。是非、試して下さい。

『英語リスニング科学的上達法—上達への近道はある!』

山田恒夫著、講談社ブルーバックス

短期大学部 川 端 朋 広

「科学的」と言っても、決してかまえる必要はない。本書の最大の魅力は、付属のCD-ROMであり、これを楽しむぶんには、本に書いてあるような理論的背景は必ずしもすべて理解する必要はないのである。このCD-ROMには、アメリカ英語の発音のデモンストレーションが、映像つきで収められている。英語学や音声学の授業で出てくる音声の一覧表があつて、その中の任意の発音記号をクリックすると、ネイティブ・スピーカーが画面上に現れて、実際にそれを発音してくれるのである。例えば、[a]と[ʌ]と[æ]の違いなどは、いくら理屈で「下顎を引いて・・・」などと言われても、なかなかピンとこないものであるが、このソフトを用いることによって、その音が実際にどういうものなのかを直感的に理解することができるようである。他にも、lとrの聞き取りテストや、自分の発音を録音して図解的に分析するプログラムなどもある。興味のわいた方は、ぜひお試しあれ!

英 語

『英語リピーティング入門』

岩村圭南著、(株)アルク

国際コミュニケーション学部 磯 野 徹

英語の発音は、英語音声学の本を読んで、英語音を発音するときの舌や唇の形等を知識として覚えるだけで上達することはありません。実際に発音してみ、その自分の発音が英語母語話者のものとどう違っているかを確認することが重要です。シャドウイングという、英語母語話者に引き続いて英文を読む学習方法がありますが、上記の本はその入門編ともいえる内容となっています。ほとんどが二者の間で行われるダイアログ形式となっていて、日常会話でよく使用されるフレーズが豊富に収録されています。また、ダイアログ毎にターゲットとなる英語音が決められていて、それらの音に関する簡単な説明も記載されています。LL 教室を使用すれば、CD に収録されている英語母語話者の発音と、それに引き続いて読んだ自分の発音を同時に録音できますので、その録音したものを何回か確認して自分の英語発音の弱点をしっかりと認識すると効果的です。また、先に述べたように、ほとんどが二者間のダイアログ形式となっているので、友達と一緒に役を交代しながら録音して、相手の発音について気づいた事をお互い意見交換しながらやってみるのいいと思います。

『理科系の作文技術』

木下是雄著、中公新書

法学部 片 岡 邦 好

やはり究極の参考書は辞書（電子辞書も含め）ということになりますが、その紹介は他に譲るとして（例えば <http://sekky.tripod.com/> をご覧ください）、ここでは、大学という場で求められるアカデミックな文章を書くための参考書として、木下是雄著『理

科系の作文技術』（中公新書）を薦めます。英語の自習用参考書というカテゴリーからは少々外れるかもしれませんが、学部卒業論文を書く際によく参照していました。出版から20年を経ています、文系の学生にとっても（とってこそ）必要な英作文上の心掛けが詰まっています。また、OHP を用いた口頭発表のための心構えなども含み、近年のパワー・ポイントによる発表にも応用可能です。また、日・英語間の比較レトリック的視点を含んだ、恐らく最初の（そして優良な）一般書です。特に、本書中に紹介されたレグットー昨年のノーベル物理学賞受賞者一の指摘する日・英語の文章構造の特徴には、まったく目からうろこが落ちる思いです。

『映画で楽しむアメリカの歴史』

八尋春海編著、金星堂 2000年3月20日

文学部 永 瀬 美智子

本書はアメリカの歴史を初めて学ぼうとする人に、ガイドブックとしてお勧めです。1492年コロンブスのバハマ諸島発見から始まって1991年の湾岸戦争に至るまで、これまでにアメリカ史に刻まれた50の大きな出来事が解説されており、各々の出来事に関連する映画がいくつか紹介されています。映画ファンであれば、その中から何本か選んでビデオで見ることで、その出来事の経緯や顛末を知ることができるだけでなく、背景となる当時の社会の雰囲気や文化などを合わせて感じ取ることができるはずです。映画はそれほど好きではないという人でも、その出来事やその周辺の解説を読んで、それをもっと詳しく知りたいのであれば、これまでに出版されているそれに関する図書が紹介されていますから、さらに知識を深めることができます。掲載されている写真にもアメリカが満載です。

英 語

『イギリス式人生』

黒岩徹著、岩波新書（1997）

経営学部 安 藤 聡

著者はオクスフォード大学に留学歴のあるジャーナリストであり、毎日新聞のロンドン特派員、ロンドン支局長を歴任した。全体が「こだわりの生き方」、「絶妙な政治」、「生きる知恵」、「風変わりな人々」の4章で構成されている。第1章では紅茶、執事、ゴルフ、古いものへの愛着、教育における独創性の重視、犬と猫などが採り上げられ、「英国的なもの」とはどのようなものか、が考察される。第2章の主題は英国の政治で、リーダーとしての資質、演説、議会、マーガレット・サッチャー批評、EUと英国の関係が論じられている。第3章では官僚に対する接し方、愛と死、老齢、あるいは国際語としての英語を、第4章では幽霊、奇人、失業率、髪型と鬘、貴族の現状などを話題にしている。政治に関する章以外は内容が古くなっておらず、固有名詞のカタカナ表記に不満が残る点を除けば、現在の英国を知る上で有益な書物として推薦できる。

『トーフルで650点—私の英語修行』

日野信行著、南雲堂

経済学部 三 川 克 俊

この本は現在大阪大学助教授である著者が自身の英語学習体験を綴ったものである。この本の中で彼は一度も海外へ出ることなく、トーフル（TOEFL=Test of English as a Foreign Language）でほぼ満点に近い650点（現在のコンピューターベースのTOEFLに換算すると280点）をとるまでに至った経緯を詳しく述べている。その具体的な方法は、いわゆる只管朗読というひたすら音読を繰り返す学習法であった。現在のようにパソコンもなければCDもなく、もちろんDVDなどもなかった、ほぼ20年前の英語学習環境の中で、留学することなく、NHK

などの英語放送などを上手に活用しながら、ここまでのスコアを獲得したことは賞賛に値する。私事で恐縮なのだが、実は私自身もこの著者のように学生時代（もう10数年前になるが）に一度も海外留学することなく、TOEFLで657点を取ったことがあるので、勉強方法は多少異なるけれども、この著者の体験には共鳴するところが多い。私もそうだったように、この著者も、有名な元同時通訳者の國弘正雄氏の唱えた前述の只管朗読を忠実かつ愚直に実行したわけである。この本と合わせて國弘氏による「國弘流英語の話しかた」（たちばな出版）もぜひ読まれることをおすすめする。

“HOW ENGLISH WORKS”

Michael Swan and Catherine Walter, Oxford University Press, (With Answer Key), ¥2,500.

国際コミュニケーション学部 Jon Blundell

Written by two well-known and experienced authors, Michael Swan and Catherine Walter, “*How English Works*” is a grammar practice book.

The edition with answer key is recommended for self-study use. The level is pre-intermediate to upper intermediate (TOEIC around 450–750). There are 368 pages in full colour.

“*How English Works*” makes grammar study a purposeful and exciting activity that is full of life, interesting and entertaining. Unlike many other grammar books, it makes learning grammar fun and enjoyable.

It has many illustrations and is printed in full colour. Funny cartoons and texts clearly show structures as they are really used in every-day English.

Learners can check which grammar points they need to practise by doing any of three levels of grammar quizzes. If more practice is needed on a particular grammar point, the answer key to these quizzes gives a page number. If students want to practise more, they turn to this page number where they can find grammar explanations and examples of the point they want to check.

The English used is British English, and the book is recommended by the publisher for Adult/Senior High School use.

ドイツ語

最近のドイツ語参考書事情

文学部 河合 まゆみ

この特集にあたって、正直なところ、紹介できるほどのバラエティーの豊かさがドイツ語参考書にそもそもあるのか、まず心配になった。職業がら、教科書や辞書は日頃からそれなりの関心をもってチェックしているが、参考書まではなかなか手が回らない。あわてて調べてみたところ、思ったよりもあるらしい。ひとまず胸をなでおろした。ちなみに「参考書」という定義はかなり曖昧である。ただでさえ数が少ないのだから、以下では、文法書、問題集、単語帳、さらには会話集などもひっくるめた広義の参考書について話をすすめていく。

一口に参考書と言っても、様々なレベルがある。この場で一番に紹介すべきは、初学者向けの学習参考書であろう。一年生、二年生で、現在ドイツ語の授業を受けながら、その授業についていけない人、あるいはすでに単位を落としてしまった人など、初級ドイツ語を自分でやり直す必要を感じている人たち向けのものである。実は、最近、この手の参考書がとくに充実してきている。多くの大学で「必修第二外国語」という金看板を失い、ドイツ語は週一コマというも珍しくない昨今である。そういう惨状(?)をカバーするため、これらの参考書は、最低限必要な文法規則をビジュアル的にわかりやすく説明し、確認のための簡単な練習問題がついている。さらに辞書を引かなくても済むよう、単語の意味等もばっちり記載されている。ときには、コラム形式でドイツ文化の紹介までされていて、もちろんCD付きという、至れり尽せりの内容となっている。定評のある著者二人のものを挙げておくと、在間進著『Z先生の超かんたんドイツ語』(郁文堂)、大岩信太郎著『スッキリわかるドイツ語』(三修社)である。

さらなるレベルアップをめざす中級・上級の人たちには、より専門的な文法書や問題集がよいと思われる。自分の実力、目的に合ったものを購入するためにも、前もって担当のドイツ語の先生に相談してほしい。私個人の経験からいえば、この段階の人に

は「英独比較モノ」がけっこうおすすめである。英語とドイツ語はもともとゲルマン語から派生した兄弟言語である。中学から学んできた英語を足がかりにすれば、ドイツ語の理解も一層深まり、同時に英語の新たな側面も発見できて、一挙両得とはまさにこのことであろう。私が重宝した参考書は残念ながら絶版になったが、ほかには佐々木庸一著『新英語から入るドイツ語』(郁文堂)などがある。

大学での授業からは離れるが、ある意味、参考書が最も必要となるのが、ドイツ語検定の受験であろう。ドイツ語関係の出版社も、こぞって対策本を出している。最近では、学生のモチベーションづくりのため、こういった独検対策問題集を授業のテキストとして使う大学もでてきているようで、現場の先生方が実地の経験を生かしてつくった問題集も出ている。一番簡単な4級から、難関の1級までであるが、参考書はやはり3、4級レベルに集中している。4級は2年生になれば十分合格可能である。LL自習室にも過去の試験問題集等関連の参考書が置いてあるのでぜひ利用してほしい。自分で買う気があるのなら、『独検4級合格講座』(三修社)などがある。

私は、いつも新1年生には、参考書を買う必要はなく教科書と独和辞典で十分だ、と言っている。これは、自身が大学1年の春、3巻本のドイツ語参考書を(第二外国語であったにもかかわらず)強制的に買わされ、どうにも肌になじまず、結局ほとんど手を触れぬままにおわってしまったという苦い経験からきている。やはり参考書は、各自が必要と感じたときに、実際に手にとって使いやすさを直感できるものを買うべきであろう。学生諸君によい参考書との出会いを祈って、この原稿を終わる。

上級者向けのドイツ語参考書

文学部 鈴木 康 志

上級者向けのドイツ語参考書ということですが、文学作品や硬めのエッセーなど複雑なドイツ語を読む際に必要になる中級文法(述語の2格、所有や関心の3格、絶対4格といった特殊な格の用法、機能動詞構文、現在・過去・未来分詞の用法、冠飾句、

ドイツ語

分詞構文、心態詞、複雑な受動文や接続法、体験話法など)を自習用に日本語でわかりやすく説明しているドイツ語参考書は残念ながらないように思います。少なくとも私は知りません。

以前は関口存男著『新ドイツ語文法教程』(三省堂)という優れたものがありましたが、現在では絶版のようですし、仮に入手できたとしてもみなさんには読みにくいものだと思います。(ただ、息子さんの関口一郎著『マイスタードイツ語コース「文法」』(大修館書店)は初級、中級用としてお勧めです。)

現在入手可能で、上記のような内容を含んだ優れた参考書の一つは桜井和市著『ドイツ広文典』(第三書房)です。上級者向けの最も詳しい参考書に橋本文夫著『詳解ドイツ大文法』(三修社)がありますが、自習用の参考書とは言えないかもしれません。

翻訳ですが、現代ドイツ語の文法一般を紹介したものとしてE・ヘンチェル、H・ヴァイト(西本・高田・河崎訳)『現代ドイツ文法の解説』(同学社)、A・フォックス(福本訳)『ドイツ語の構造』(三省堂)などがあります。

まず、やさしい会話から

非常勤講師(ドイツ語担当) 今 津 哲 郎

授業では個人練習が不足しますので、それを補うための自習書を紹介します。また、授業で壁につき当たったという人にもお勧めします。

高橋透著『今すぐ話せるドイツ語(入門編)・CD 2枚』(東進ブックス、1300円+税)。内容は、旅行会話ほか、ごく短いやさしい会話中心です。まず、冒頭に「プレ授業」といって2ページ文のドイツ語会話があります。これは、CDの冒頭に収録されている会話の内容で、これを毎日まずはじめに聞く、というものです。分かっても分からなくてもいい、とにかく毎日聞き続けてください。そこで具体的に29課に分けられた本文を練習します。一課ごとの内容は、ごく簡単な会話場面で、授業で学んでいる人には十分理解できますし、難しい説明の必要のない会話ばかりです。これを毎日少しずつやってください。全部やり終わる頃には、「プレ授業」で毎日聞いていた内容が耳からも、目からも理解できるよ

うになっているでしょう。なお、姉妹編として小笠原能仁著『今すぐ話せるドイツ語(応用編)・CD 2枚』(東進ブックス、1500円+税)があります。入門編を終わってもっと進みたいという人にお勧めです。構成は、入門編と同じで、冒頭に「プレ授業」があり、一通り終われば自動的に内容が理解できるようになっています。

二年生向けのおすすめ自習参考書

―出会いを大切に―

非常勤講師(ドイツ語担当) 中 村 修

みなさん、一年間ドイツ語を学んで、どんな印象を受けましたか? 英語とは異なった発音や似て異なるつづりに戸惑い、複雑な文法規則に遭遇し、限られた授業時間内で基礎を一通り学ぶのに四苦八苦し、途方にくれていた人は少なくないでしょう? でも、ご安心あれ。ドイツ語は根気よく付き合っていけば、発音とつづりがほぼ合致して、複雑そうな文法規則も非常に理にかなった生真面目で嘘をつかない言語であることが実感できるでしょう。ここでは、みなさんの苦手意識を払拭し、ドイツ語習得へと導くであろう自習参考書を紹介いたします。

まず、参考書は最初に手にしたときに、直感的に興味がわいて、常に携帯したくなるようなものが最良だと思います。最も重要なことは参考書との相性です。そうした観点から、みなさんにおすすめしたいのは、初級文法を確認し、語学的理解を深めるものとして、中島他著『必携ドイツ文法総まとめ』(白水社)、本郷他著『ハイスピードドイツ文法(第3版)』(三修社)の二点です。さらに、表現力を養う和文独訳の演習をすれば、かなりの力と自信がつかます。基礎的な語彙を中心に練習できる福田他著『表現と作文 ドイツ重要動詞50』(白水社)や大岩著『はじめての独作文』(朝日出版社)がおすすめです。また、同時に会話能力も身に付けられるはずですが、私の経験では、この類の問題集を、解答を参考にしながら数回やり終えたときに、かなりの自信がつかしました。

フランス語

私のおすすめの自習用参考書

文学部 中 尾 浩

語学の勉強、それもはじめて習う言語の場合、何はともあれ、復習がもっとも大切だ。知らないことばかりだから予習のしようもないし、参考書を買うといっても、どれがよいのか、自分にはどんな参考書が向いているのかも最初のうちはわからない。したがって、最初のうちは教科書こそ最高の参考書であり問題集であると考えて、ほとんど暗記してしまうくらいまで復習することをまずは勧める。その段階を終えたら、自習用の参考書を活用しよう。教科書だけで実力アップは望めない。

フランス語の参考書もずいぶん変わってきた。昔はハードカバーの参考書が多く、購入する段階で「さあ、買うぞ」と意味もなく気合を入れたものだが、最近ではソフトカバーの、しかもイラストやマンガまでついている親しみやすいものが増えてきた。イラストを見ているだけで楽しそう。ここでまず参考書第一の法則が生まれる。

1) 参考書は必ず自腹を切って買うべし

愛知大学の図書館は毎年積極的にフランス語の参考書を購入している。この原稿を書いている段階で豊橋と名古屋の図書館を合わせて500冊以上のフランス語の参考書がピックアップされた。図書館で借りる手もあるが、それでは自由に書き込みをすることができない。また貸し出し期限もかぎられている。さらに、わざわざ自分でお金を出せば、もったいないから少しはやるか、という気にもなる。2千円くらいの投資でこの参考書に書かれた内容すべてをマスターしたら、投資額を回収しておつりが来るぞ、くらいに考えよう。

さて、そうやって参考書を自腹を切って買うと、きれいに使いたくなる。カバーをつけるくらいはかまわないが、問題の答えをノートに書いて、参考書を汚さないように使っている人も見かける……。だめだ！ そんなことではフランス語は上達しない。

2) 買った参考書は徹底的に汚すべし

もちろん、汚れた手で使えという意味ではない。書き込みをしたり、ページを折ったり、付箋を貼り付けたり、とにかく参考書を徹底的に使うのだ。書き込みやページを折ることは、それだけ自分が参考書を使った証拠だと考えて、とことん汚してしまおう。こうして参考書が汚れてくると、不思議なこと

にそれに比例して、ますます愛着がわいてくる。もつとこの参考書を使おう、という気になってくる。そうなるとしたものだ。

そうこうしているうちに、参考書は下線やマーカーや書き込みだらけになる。あちこちに付箋を貼りすぎて、どれがどれだかわからなくなる。そこで初めてノートの出番だ。

3) ノートは参考書を汚してから使い始めるべし

参考書にいろいろな書き込みをしたり、大切だと思うところにマーカーをつけ始めると、少しずつ自分にとって本当に重要な部分が見えてくる。参考書の中には説明の都合上、必ずしも関係のある単元が隣り合って説明されていないものもあって、前後のつながりがわかりにくくなっている場合もある。そんなときに、自分なりに参考書の中に「この点に関してはp. 48を見よ」とでもメモしてあれば、今度は参考書のページをめくりなおすより、自分なりにノートにまとめてみた方が、知識としても定着する。ノートはやみくもにとつてはいけな。ある程度見通しがたって、自分なりにまとめることができることが大切なのだ。見通しがたってノートにまとめなおした段階で、君の知識はいっそう確実になるだろう。

以上、私の学生時代の参考書の使い方を振り返りながら、参考書3か条をまとめてみた。参考にしてほしい。

残念ながらフランス語の参考書は英語に比べると量の面では少ない。したがって、ある程度大きな書店でないとフランス語の参考書をおいていない書店が多い。実際に手にとって選ぶためには、ある程度大きな書店に行かなくてはならないが、大学生なら暇があれば本屋に足を運ぶ、くらいの気持ちを持つてほしい。あるいは、こんなときこそ図書館を活用しよう。愛大の図書館には大量のフランス語の参考書がある。図書館でいろいろな参考書を見比べてみて、これなら使いこなせそうと思ったら、注文して買えばよい。そう、参考書活用の第一歩は自腹を切ることなのだ……。

参考書：『フランス語動詞活用表』

川村克己他、駿河台出版社、840円

フランス語動詞完全制覇！

参考書としては、オールラウンド的なもの、フランス語検定や通訳などの特定の目的に応じたもの、動詞や聞き取りなどの特定の分野に限っているもの、に大まかに分類できるだろう。この中でとりわけ初級者にお勧めなのは、動詞の活用表である。フ

フランス語

フランス語動詞活用表とか変化表という名前の小さな参考書がある。単に動詞の変化(活用)が1ページにひとつずつ書かれているだけだ。私は学生時代に先生に勧められて、この小さな参考書を丸々ノートに書き写したことがある。結果的にそれがフランス語の勉強のハードルを低くしたと今でも思っている。フランス語は動詞の変化が非常に複雑だ。ほとんどの学生はフランス語の動詞の変化の複雑さにうんざりして、勉強を放棄してしまう。しかし、フランス語をマスターする上で、動詞は避けて通れない。それならむしろ積極的に先にやっつけてしまえ!、くらいの意気込みで取り組もう。

参考書:『もし、フランス語で暮らしたら?』

原田早苗他著、白水社、1,600円

体当たり実戦フランス語会話

特定分野に限定したもので、会話に関する最新の参考書を紹介しよう。会話の参考書は今までにもいろいろあった。ところが、どの会話もうそ臭いのである。たとえば「いらっしやいませ。ここは当店で最高のテーブルです。どうぞお座りください」。文法事項にあわせた会話文を作ろうとすると、どうしてもぎこちなくなってしまう。おそらくこんなフランス語を聞くことも話すこともないだろう(ちなみにこれは最上級の单元)。それなら最初から日本人が普段話しているようなことをフランス語で話してみるとどうなるか、というのが本書のコンセプトである。「今朝は7時半に出なくっちゃ。別のキャンパスで授業があるから」「やばい! 数学の宿題をやるのを忘れた。方程式、わかんないんだよな。写させてくれよ」「今晚の飲み会はどこであるんだっけ?」これならフランスに短期セミナーで行った時にもすぐに応用できるかもしれない。体当たり実戦フランス語のための一冊である。

フランス語辞書は最良の参考書

『新スタンダード仏和辞典』

三宅徳嘉他、大修館書店

国際コミュニケーション学部 高橋 秀雄

初級段階の授業ではあまりくわしくは扱われないが、フランス語を正確に使うようになるために、発

音と活用の体系をぜひ一度きちんと学んでおく必要がある。そのためには、大きな参考書をわざわざ買い求めるより、まず手持ちの仏和辞典にたいてい付録としてついている発音と動詞の解説を読むことをおすすめしたい。そのような解説のなかで、「新スタンダード仏和辞典」(大修館書店、1988)の付録にある、三宅徳嘉氏執筆の「発音について」6頁と、「動詞の活用」12頁は、学習者がさまざまな学習段階において何度も読み返すべきものである。この短い作品は、フランス語がどのような言語であるかを透明な箱に入れて示したような、明晰な、また初心者にもわかる平明な論考であるが、それだけではない。「どんな言語でも、時代とともに移り、地域によって異り、社会環境にしたがって変る」という冒頭の文を読んでもわかるように、つつましい記述ながら、言語学者としての三宅氏の思想を知る貴重な読み物でもある。

ファジーなフランス語はいかが?

『フランス語の意味とニュアンス』

石野好一著、第三書房、2,300円

非常勤講師(フランス語担当) 山口 憲男

何かを表現する際、断定できる時でもできない時もある。例えば、「彼は30歳だ」とも「30歳くらいだ」とも言うであろう。これらは初級文法レベルで伝訳できるが、後者の問題に詳しく触れられることはなかった。本書はこうした「ファジー」な表現に焦点を当て、意味を和らげたり、ぼかしたりして、微妙なニュアンス付けをする様々な方法を紹介している。

また本書は、類義表現の差違を知るために利用しても面白い。例えば、数をぼかす quelques と plusieurs の違いをご存知だろうか。2~4と3~6といった数の違いではない。Il lui reste quelques cheveux は決して「オバQ」状態を表すものではない。Il a plusieurs maisons と比べても、前者の方が数が多いのは明らかである。

初級文法を終え、こうした問題に目を向ける余裕が出てきた中級学習者にぜひとも読んでもらいたい本である。

中国語

文法を勉強する楽しさ 自習法とオススメ参考書紹介

国際コミュニケーション学部 塩山 正純 ほか

中国語の力を伸ばすにはどんな学習が必要でしょうか。胸にこう手を当てて、勉強の仕方を考えてみましょう。材料と道具が揃わないと、何もできない。まず大事なことは単語、発音、漢字の暗記です。それが常に出来ない人に明るい未来はありません。同時に、文法を勉強して、呼応表現や、類義語のニュアンス、基礎語彙の主な用法、日本語との意味のズレ等をどれだけ身につけていけるかが勝負です。

基本は授業に出て、新しいことを習って、さらに自習でのばすこと。筆者の授業ではテキスト『中国見たり聞いたり15章』でいまの中国をテーマにした文章を読みながら、文法と中国語力を身に付けます。興味のある人は覗いてみて下さい。

授業に出て、先生からの一方通行の説明だけでは充分とは言えません。疑問があればすぐに質問、先生の答え、自分の解釈とあわせてメモすれば、オリジナル参考書の出来上がり。こんな場面で、こんな言い回し、自分もこんな風にはなせたら素敵、という表現がどしどし身についてきます。そうすればシメたもの、自ずともっと細かいところまで極められます。

まずは最初の一步、学習の初歩でよくつまづく点を、張筱平先生のお話から考えてみましょう。

どんな文で“吗”を使ってはいけないのか

国際コミュニケーション学部 張 筱 平

さきの中国語検定3級の作文問題で、次のような間違いがありましたが、分かりますか。

1. 私は彼が来るのか来ないのか知らない。
→我不知道他来不来吗？
2. 彼が来るのか、それとも君が行くのか。
→他来还是你去吗？

それぞれ「1. 我不知道他来不来。2. 他来还是你去？ / 是他来呢，还是你去呢？」が正解です。

中国語初学者がはじめて見る疑問文はふつう“是非問句”です。参考書で言う“陈述句+吗”で、日本語の「～ですか？」にあたります。そこで日本人の多くは「か」イコール“吗”と考えがちですが、それは間違いです。文末に“吗”を持つのは疑問文。疑問文でないと“吗”は付かないのです。また、中国語の疑問文の型は多くて、“吗”は、疑問文の1つのパターンにすぎません。以下、“吗”をつかわない疑問文のパターンを幾つか紹介するので、どれが正しいか○×で答えてみましょう。(答えは最後に)

①省略疑問文

[] 我暑假去中国旅行，你呢？

[] 我暑假去中国旅行，你吗？

②疑問詞疑問文

[] 你什么时候去？

[] 你什么时候去呢？

[] 你什么时候去吗？

③“多+形容词”

[] 你男朋友多高？

[] 你男朋友多高吗？

④反復疑問文“肯定+否定”

[] 你暑假去不去中国旅行？

[] 你暑假去不去中国旅行吗？

⑤選択疑問文

[] 你去还是不去？

[] 你是去呢，还是不去呢？

[] 你去还是不去吗？

如何でしたか。日本語によって安易に置き換えることなく、中国語そのものの文法に則って考えることが肝要なのです。

* * * * *

さあ、ここからはお気に入りの文法書を手に入れて自習のスタートです。初級・中級の文法力アップにはどんな参考書がオススメでしょうか。

私のお薦め参考書

オープンカレッジ講師 高橋 めぐみ

中国語学習者の増加に伴い、選ぶのに迷うほどの参考書が出版されています。その中から数冊挙げる

中国語

と、まずは相原茂他共著『Why? にこたえるはじめての中国語の文法書』(同学社)。発音から文法全般の分かり易い説明、コラムや関連本の紹介など多岐に亘る関心に応えてくれます。単語数も多く、各課毎のドリルで文法事項を習得できたか確認することができますのも嬉しいですね。次に、基礎的事項は理解できたがそこから伸び悩む人には、荒川清秀他共著『中国語教室 Q & A101』(大修館書店)が役に立つでしょう。「三声が三つ以上続く時の発音」や「“V 在～”と“在～V”の違い」など、質問回答形式で具体的な疑問に答えを示してくれます。更に一歩掘り下げて中国語を捉えたいなら、その名も荒川清秀著『一歩すすんだ中国語文法』(大修館書店)。中国語の特性が豊富な用例と共に説明されており、知的好奇心が刺激されること疑いなし。中国語学習者は是非一読を！

おすすめの文法書と活用法

『やさしくくわしい中国語文法の基礎』

オープンカレッジ講師 中西千香

自分が勉強した中国語をどこまで理解しているか不安だったり、最近うけた授業の文法事項でよくわからなかったり、理解を深めたいということがあるでしょう。そんな時、わかりやすい文法書が手元にあるとレベル向上の手助けとなります。私が紹介する一守屋宏則著『やさしくくわしい中国語文法の基礎』(東方書店)は、これまで学習者の方から何かいい文法書がないかと聞かれるとまずこの本を薦めています。留学に行く学生にもこれを持っていくよう薦めています。この本は、出版されて、もう十余年がたちますが、今もロングセラーですし、韓国語にも翻訳されているほど、まとまっており、十分に独学に耐えうる一冊です。文法書を最初から順に読むのも悪くはありませんが、常に傍に置き、わからない文法事項にでくわした時に索引から調べるのが一番の方法です。この他に、ドリルが充実の『Why? に答える中国語文法書』(同学社)も同じく自信を持って薦められる一冊です。

* * * * *

いずれも例文や解説に定評ある参考書です。いつまでたっても難しい‘了’や補語など試しにみてみましょう。動詞中心にみるなら『一歩すすんだ中国語文法』がかゆいところに手が届く、よき助人になりましょう。さらにもう一歩すすむと、つぎはいよいよ作文力の向上ですね。

中国語の作文の参考書

国際コミュニケーション学部 荒川 清 秀

作文というと、すぐに『日中辞典』と首っ引きという人もいるでしょうが、作文とは借文といわれるように、ほんものの中国語をどこからとってきて使うことです。それはつまり自分自身がどこかで読んだ文、覚えている文、あるいはなんらかのテーマに関係する文章を読み、それらを総動員して書くものです。しかし、そうばかりも言っておられませんので、わたしが使った2冊の参考書を紹介することにしましょう。一つは興水優著『やさしい中国語の作文』(大修館書店)です。これは中国語の文法体系をふまえたもので、まず中国語があり、それを日本語にしたものをさらに中国語にするというものです。中国語文法を意識的にとらえることができますし、復習にもなります。もう一つは竹島金吾著『中国語の作文』(金星堂)です。これは筆者の長年の経験がにじみ出たもので、問題をときながら、日本語と中国語の違いに思いをはせることができます。

* * * * *

自習の友としては、辞書もあなだけません。親字や単語の説明や例文を見比べてみるだけでも随分と勉強になります。試しに同じ字を小学館、東方、白水社あたりの中日辞典で比べてみましょう。思わぬ発見、目からウロコということもあるかも知れません。いろんな文法書や辞書をとおして、中国語の楽しさを再発見してみましょう。

答え ①○× ②○○× ③○×
④○× ⑤○○×

ロシア語

お勧めのロシア語参考書

経済学部 清水 伸子

ロシア語というと常に原稿を頼まれるのだが、今回のテーマは「お勧めの参考書」と聞いて、考え込んでしまった。何が学習の主眼かによって紹介するものが違ってくるからである。

私は、語学学習には「**単語や決まり文句を覚える**」ということと「**文法などのきまりを覚える**」という2つの作業が必要だと思っている。両方とも同じ「覚える」ことじゃないか、と言う人もいるかもしれないが、この2つはその目的や「覚える」ための練習方法の点で異なる。

まず、(少々)ロシア語を使えるという気分を味わいながら学習するなら、「単語や決まり文句を覚える」ことを第一方針にして学習していくと良い。例えば、「モージュナ? (可能?)」という表現を覚えておけば、ペンを借りたい時、置いてあるパンフレットか何かをもらいたい時、目についた空席に座りたい時、対象物を指差して相手に一言「モージュナ?」と言えば十分相手とコミュニケーションができる。この方針の学習では、覚えた表現が多ければ多いほど、使える表現が増えるわけであるから、とにかくひたすら暗記するという作業になる。早くたくさん暗記するための方法なんていうのが世の中にあるならば、私たちはとっくの昔に受験や試験の苦しみから解放されているはずであるから、暗記のためのうまい方法はないと考えてよい。強いて挙げるならば、日々の生活で使えそうな表現や自分が好きなものに関連する単語から覚えていくことであろう。

「**単語や決まり文句を覚える**」には、『NHK テレビロシア語講座』、『改訂版標準ロシア会話』(白水社)、『ロシア語会話とっさのひとこと辞典』(DHC出版)がお勧めである。前者の『NHK テレビロシア語講座』は初心者向きで、後者2点は中・上級者向きである。NHK テレビ講座は、NHKの他の言語の講座に比べるとまだまだ垢抜けないが、文化紹介も含めて工夫が凝らしてあり楽しめる。後者2点はテープやCDが別売りされているので、電車や車の

中で聞きながら学習することが可能である。『改訂版標準ロシア会話』(白水社)の良い点は、決まり文句以外に単語が「食べ物」「住居」といった項目ごとにまとめられている点である。ここから身の回りにある品物の単語をひろい出し、ポストイットなどに書き写して品物自体に貼っておくとよい。また、『ロシア語会話とっさのひとこと辞典』(DHC出版)は、同時通訳の第一人者が著者に加わっているため、教科書などではまずお目にかかれないような「こなれた表現」が収録されている。

単語や決まり文句を覚えれば、覚えたものは言えるし聞き取れる。しかし、相手とロシア語でいろいろなことをやり取りするとすると、覚えた決まり文句だけでは切り抜けられないものである。したがって、ロシア語で会話をしたり、あるいはロシア語で書かれた文書を読むためには、「**文法などのきまりを覚える**」必要がある。ロシア語は単語の最後の音に変化する屈折言語であり、最後の音がどのように変化するかを覚えなければならない。「イクラー(イクラが)」や「ドゥイーニャ(メロンが)」を「イクラを」「メロンを」にする場合には、すぐに「イクルー」「ドゥイーニュ」という形が出てこなくてはならない。このためには、暗記するというよりも、ドリル形式の問題をこなして単語を(活用)変化させることに慣れるしかない。

ドリル形式になっているものとしては、『トレーニングペーパーロシア語教養課程Ⅰ・Ⅱ』(教育社)が、書き込み式で、初歩の文法と単語を学習する独習者には最適なものであるが、残念ながら絶版であり古本で探すしかない。そのほかのものでは、『自習ロシア語問題集』(白水社)は文法説明と練習問題が1ページにまとめられており比較的使いやすい。『ロシア語練習問題1000題』(白水社)は、文法説明が全く無いので独習者向きではないが、『自習ロシア語問題集』(白水社)と比べて、文法事項ごとにより細かく練習問題が組まれているという点で手厚いドリル形式となっており非常に良い。

文法全般に関する参考書としては、『現代ロシア語文法』(東洋出版)が丁寧で詳しい。練習問題も若干用意されているが、あくまでも文法説明に重点があるので、ドリル形式のものと併用すると良い。

韓国・朝鮮語

私がお薦めする参考図書

『韓国語ジャーナル』

2002年創刊、年4回発行。(株)アルク、1,300円

非常勤講師（韓国・朝鮮語担当） 朴 美 姫

韓国語教師の立場から一人でも多くの方に韓国と韓国語に親しんで頂くためこの本（正確には雑誌）を選んでみました。

少し前迄韓国語のテキストと言えば「これは本です。」「あれは辞書ですか？ いいえ鉛筆です。」と言った、文法を体系的に学ぶのには役立ちますが、これが勉強なのだ、と言わんばかりの些か無味乾燥な表現が並んでいました。

所が、最近事情は一変し、「冬のソナタで始める韓国語」、「歌で覚える韓国語」、「恋から始める韓国語」等々、人の心をぐっと惹きつけるタイトルの本が書店に並ぶようになりました。“悲しく切なくも美しいラブストーリーを韓国語で楽しみましょう。”“映画、ドラマ、ポップスで使われる自然な表現が身につきます。”キャッチ、フレーズもとても魅力的です。確かに、いきなり「恋人はいますか？」「ひと目で好きになりました。」「胸がドキドキ」と言った表現が出てきて、興味を持って学べるように思われます。

けれど、ネイティブでない人が文法を体系的に理解せずに様々な表現を覚えていっても、自分の考えを話すなり、書くなりして正確に相手に伝えようとする時、限界を感じ大きな壁にぶつかる事になります。

『韓国語ジャーナル』をひと言で言えば、あらゆる角度から韓国と韓国語に親しもう、という本です。

韓国人と話していると初対面なのに女性に対してでも年齢を聞かれたり、家庭の事を細々と尋ねられる時があります。少し親しくなると些細な事で「ありがとう」と言わなくなるし、約束した時間を

きっちり守らなくなります。

こんな例を数え上げ始めたら切りがありませんが、これらはすべて韓国の文化、生活習慣を知ればちゃんとした理由がある事が分ります。言葉を学ぶ事とその国の文化を知る事は車の両輪なので、言葉だけいくら上手になっても血の通った意思疎通はできません。その逆に日本人が何気なく使う言葉に韓国人が感情を害したり、誤解してしまう例も非常に多くあります。『韓国語ジャーナル』はこの事に特に力を入れているようで多彩な角度から文化を知るという問題に取り組んでいます。

映画・ドラマのスター、音楽家など色々なジャンルで活躍している人たち（主として若者）の紹介と細かく突っ込んだインタビュー（付録CDに収録）が毎号必ず出てきます。日本と似ているようでかなり違う韓国社会を切り取り、韓国人の眼から、或は日本人の眼からその違いの理由を考えます。友情、恋愛、仕事、結婚等々、若者たちが自由に語る座談会、身近な話題についての街頭インタビュー、主婦たちのおしゃべり、日本で報道されなかった短いニュース（いずれもCD収録）、ガイドブックにない韓国旅行、食べ物、工芸品、声に出して読みたい美しい韓国語、どれも韓国の文化、ライフ・スタイルを知るのにとても役立ちます。

言葉の勉強も手を抜いていません。初心者が体系的に覚えていけるよう配慮されていますし、日本語に堪能なネイティブの韓国人でこそ始めてできるツボを押さえた会話指導（韓国語に堪能な日本の先生が書いたテキストには実際には使われない表現がまま見られます。）、現在韓国で使われている辞書にない新しい言葉、それも単なる説明ではなく韓国人へのインタビューを通して紹介しています。

ほんの一部しか内容を紹介できませんが、生きた韓国を身近に感じながら韓国語をマスターしていける、『韓国語ジャーナル』はそういう本だと思います。

韓国人の友達を持ち、『韓国語ジャーナル』で仕入れた知識をさっそく使ってみて更に理解を深める、こうできたら理想的でしょうね。

タイ語

タイ語のオススメ自習参考書

国際コミュニケーション学部 加 納 寛

最近、タイ語の学習書はヤマのように出版されています。本屋さんに行けば、書棚にならんだ色とりどりのタイ語の教科書たちを見ることができます。私がタイ語の勉強を始めたときには、タイ語の教科書なんてほとんどなかったのに… (←ヒガミ) さらにいえば、最近の本にはCDが付いてくることが多くて、しかも価格的に2000円前後でおさえられており、自学自習にはピッタリです。私がタイ語の勉強を始めたときには、テープ付き教材なんて目の玉が飛び出る金額だったのに… (←ヒガミ part 2)

ということで、このご時世、自習用教材を積極的に使わにヤソソソ、という事態になっています。ここでは、タイ語のオススメ自習用教材 (の一部: 最近のタイ語教材は非常に多いので、全部は紹介できません) を紹介します。

まず、タイ語の特徴をおさえておく必要がありますね。タイ語は東南アジアのタイを中心に使われている言葉です。タイ語には声調があります。このおかげでタイ語は音楽のように美しく聞こえるのです。文の成り立ちはSVOの順に単語を並べることによってできます。動詞に活用がないので、英語などで活用に苦しんだ人には学びやすい言語です。文字はインドの文字の影響を受けて作られています。日本人にはなじみが薄い字のカタチですが、キレイです。

ということで、タイ語を学ぶには、まずは発音の基礎をきっちり身につけておく必要があります。これは、やはり先生について習うのがもっとも効率的です。自習には限界があると思います。発音の基礎を身につけたら、よく使う文字を覚えることです。子音字だけで44個と聞くと、あー、もーダメだー、と思ってしまう人もいますが、そんなこといったら日本語の表記なんかとても勉強できません。それに44個の子音字の中には、もう使わない字や、あまり使わない字も入っているの、まずはよく出てくる文字から覚えていけばよいのです。ここまで来たら、あとは簡単な文法だけ学んで自学自

習すれば、タイ語の力は飛躍的に伸びていきます。どんどん実践もしていきましょう。

では、ここから、自習用教材について、(1) 文字、(2) 単語、(3) 文法、(4) 会話、(5) 聴解、(6) 読解、(7) その他について順に紹介していきます。

(1) 文字

これはもう、読んで書いて慣れていくのが一番です。正直言って、タイ文字は、発音を身につけた人ならば先生に習わずに自学自習して身につけることも可能です。水野潔・中山玲子『書いて覚えるタイ語の初歩』(白水社、1996) や宇戸清治『やさしいタイ語文字の読み書き』(大学書林、1992) は文字の読み書きを自習するのに適しています。

タイの小学生みたいな書き取りや書き方の練習がしたければ、タイの幼稚園児か小学1年生用の練習帳を買ってくるのが安上がりです。でも、タイまで行かないと買えないよね。ということで、日本では、諸江ボウオン『タイ文字練習帳』(めこん、2000) という本が売られています。

実際に読みを練習するには、実践的練習を入門段階から順々に繰り返すことができる『タイ語のかたち』が便利です。この本は、「勉強するぞ」と気負わなくても、どんどん読み進んでしまい、知らないうちにタイ語の文字がわかってしまうというスグレモノです。

文字中心にタイ語を学ぶには、ワンナゴン・アヌチャー『24時間で学ぶタイ語』(TLS 出版社、2000) がよいでしょう。

(2) 単語

単語帳としては、なんといっても、水野潔・水野ワースナー『タイ語基本単語2000』(語研、1989) か宇戸清治『タイ語の日常基本単語集』(ナツメ社、1993) です。前者は2000語がおさめられ、後者はそれ以上の単語がおさめられています。価格は後者のほうが100円安いので、ケチが多い本学タイ語学習者の面々は後者を使っていることが多いけど、とりあえず記憶するには2000語くらいを目標にした方が勉強しやすいわけで、前者もオススメしています。

(3) 文法

カチカチの「タイ語文法書」といえるような日本

タイ語

語の本はあまりありません。タイ語を習っている人は、授業で使った教科書をまずは熟読するのが一番です。愛知大学では、佐藤正文、ワッター・ウティチャムノン『実用タイ語会話』（泰日経済技術振興協会付属語学学校、1999）と宮本マラシー『サワディー』（国際語学社、1996）を用いています。

文法中心にまとめているのは田中寛『らくらくタイ語文法+会話』（国際語学社、1998）です。宇戸清治『やさしいタイ語基本表現』（大学書林、1995）や山田均『キーワードで覚える！やさしいタイ語会話』（ユニコム、1996）も文の組み立てがわかりやすくまとめてあって便利です。

(4) 会話

私が短期の講座でタイ語を教えるときには、水野潔『今すぐ話せるタイ語 [入門編]』（東進ブックス、2004）を使っています。必要最小限の文法が手際よくまとめられている上に、実用的な旅行会話が練習できるからです。CD も付いているので、自習にも向いています。同じ著者による水野潔・鈴木玲子『CD エクスプレスタイ語』（白水社、2000）もありますが、こちらはタイ文字を覚えないと読みこなせないという、初心者にはちょっと辛い「入門書」になっています。文字と会話を両方一度に自習したい人にはオススメです。

平野寿美子『語学王タイ語』（三修社、2001）は、初歩からタイ語会話を学ぶのに適しているでしょう。

ある程度基礎が身についている人には、堀江・インカピロム・プリアー、水野潔『プリアーのタイ語会話』（めこん、1993）やウィライ・トーモラクン『実用生活タイ語会話』（泰日経済技術振興協会付属語学学校、2000）を読んで練習していくのも会話力向上によいでしょう。

(5) 聴解

これまで記してきた CD 付きの自習書なら、聴解の自習にはどれもオススメです。その他、最近インターネット・ラジオでタイ語聴解を自習する手も使えるようになりました。オススメは、NHKの海外向け放送です。日本からのニュース発信ですので、流れるニュースはどれも新聞やテレビ・ニュースで見たり聞いたりしたものばかり。意味をつかみ

やすいのがいいですね。LL 自習室の映画やビデオも勉強になります。『ドラえもん』シリーズなら、なじみ深いので、のび太とジャイアンがタイ語で会話していても、理解しやすいわけです（のび太とジャイアンの会話だったら、たいていのび太がジャイアンにいじめられている会話なわけだし）。

(6) 読解

図書館に行けば、タイ語新聞の『タイラット』や、タイ語週刊誌『マティション・スットサップダー』などがあります。こういったもののうち、興味のある記事を読んでみるのがよいでしょう。また、LL 自習室には、日本文学のタイ語訳も集めています。夏目漱石の『こころ』や乙武洋匡『五体不満足』をタイ語で読むのも乙ですね。これらを使えば、タイ語作文の自習もできます（日本語を見てタイ語に訳してみて、自分の訳とタイ語版の訳とを比較する）。インターネットで新聞を読んでみるのもいいですね。地元関係としては、名古屋のタイ人留学生たちのページ (<http://www.tsnlife.com/>) も興味深いタイ語記事が並んでいます。一度のぞいてみてください。

(7) その他

タイ語で手紙を書きたい人は、ポンパン・レプナグ『誰でもすぐに書けるタイ語手紙』（国際語学社、1998）がよいでしょう。辞典については LL ニュースの24号（2002年3月発行：辞書特集）にまとめているので、そちらを参照してね。なお、その辞書特集の後に、宇戸清治『デイリー日タイ英・タイ日英辞典』（三省堂、2004）が出ており、けっこうシンプルで軽くて使いやすいいので、ここで紹介しておきます。

というように、タイ語には多くの自習教材が揃っています。LL 自習室に行けば、上に挙げたものの多くを実際に見ることができるので、是非 LL 自習室に足を運んでみてください。ただし、本代はケチらないように!! 図書館の新聞コーナー・雑誌コーナーも必見です。また、インターネットの利用も便利です。自学自習の健闘を祈ります!! タイ語の先生（私です）にも声をかけてみてね!!

日本語

日本語が好きになるために

国際コミュニケーション学部 山本 雅子

「好きこそ物の上手なれ」ということわざがあります。このことわざは、日本語が上手になりたいのなら、日本語を好きになるのが近道だということを教えています。では、どんな近道があるか考えてみましょう。

*旬の日本語をゲット！

外国語がうまく話せるようになる最も良い方法は、その言葉が話されている環境のなかで生活することであるとは、よく言われることです。留学生のみなさんはまさに最高の環境にいるわけです。眼にする看板、隣の人たちの話、等々、眼に触れるもの、耳にするもの、すべてが日本語であるというこの環境は、まさに日本語のシャワーです。アンテナを張ってさえいれば面白いほど様々な表現が獲得できるのです。しかも、このシャワーはまさに旬の日本語のシャワーです。今すぐ役に立つ表現や、時には、友達と話すときに話題にできるような興味深い表現が、自分のなかでどんどん増えていく喜びは、きっとあなたを日本語大好き人間に変身させるでしょう。

推薦自習書：環境（2004）『あなたが今眼にする日本語、耳にする日本語』

*日本を知る

言葉は、その言葉を話す人のものの見方、考え方を映し出す道具です。そして、人のものの見方、考え方はその人が生活している風土によって培われています。ということは、日本語という言葉は、日本語を母語とする集団の慣習、文化によって支配されているといっても良いでしょう。ですから、高度な日本語を習得するためには、日本人のものの見方、考え方を理解することが不可欠となります。

いわゆる日本について書かれた本は枚挙に暇がなく、どの分野から入っていくかはあなたの関心に依るところですが、ここでは、南博の『日本人の心理』を紹介します。慣用表現に焦点を当てながら、日本

社会のあいまいな人間関係が産出されるメカニズムを説明しています。日本について学びながら、いつの間にか日本語特有の表現を獲得してしまっているでしょう。

推薦自習書：南博（1994）『日本人の心理』
岩波書店

読書で新しい世界を広げよう

経済学部 中崎 温子

母語以外の言葉を学習することによって、言語そのものに対する感性が磨けるだけでなく、異なる価値観を背景とするコミュニケーションの在り様の様々を発見、認識することができます。さらに、これらのことから、母語や自文化を意識的に内省し、自文化を豊かに変容させたり、異文化理解、他民族理解の資質を養うことができます。第二言語環境（滞日）の中にいる留学生の皆さんも、日本語の運用能力だけでなく、自らの世界観を広げていく格好のチャンスに恵まれているといえましょう。同時に、まだまだ国際化の立ち遅れが指摘されている日本の大学にあって、留学生の皆さんの成長は、真に日本が世界に開放された国になるための重要な布石と考えます。日本を少しでも風通しのいい国にしていくために、皆さんの存在は貴重なのです。

それでは、言葉の面での難易度の低いものから順に紹介したいと思います。まず、『世界がもし100人の村だったら』。短くて読みやすい言葉が使用されています。民族の異なる隣の人と共感し連帯していくことを呼びかけています。次に『五体不満足』。小学校4年生以上で習う漢字にはふりがなが打ってありますから、平常よりも速いスピードで読み通すことができると思います。障害者をはじめとするマイノリティ（少数者）の人との「心の壁」をどのように越え、多様性を受け入れていくべきかを考えさせてくれます。日本語教師を目指す人には『日本語教育学を学ぶ人のために』を薦めます。この書の存在意義は、「教師である自分は何ものであるのか」という問いかけと常に向き合っていることです。単

日本語

に言葉を教えていればよしとするのではなく、言語教育の根本に関わって自らの活動の意味を問いかけます。最後に、レベル的には手ごわいですが、『**日本語教育のかなたに——異領域との対話**』を挙げておきましょう。この本は、これまでの「日本語教育の硬直性」を批判し、その存立基礎を根底から問い直すことによって、多文化主義とくに言語多文化主義の観点から鍛えなおすことを提言しています。日本語関係者が「はじめに言葉ありき」ということで大上段に日本語を「教え込む」ことを見つめなおし、コミュニケーションの関係性から共同活動的に肩の力を抜いて言葉と付き合っていくことの工夫をのぞきみることができます。異文化コミュニケーションを考える上で勉強になる一冊です。

- 『世界がもし100人の村だったら』(2001)
池田香代子再話 C. ダグラス・ラミス対訳
マガジンハウス社
- 『五体不満足』(1999) 乙武洋匡著 講談社
- 『日本語教育学を学ぶ人のために』(2001)
青木直子/尾崎明人/土岐哲(編) 世界思想社
- 『日本語教育のかなたに』(2000) 田中望著
アルク



『日本語を書くトレーニング』

野田尚史・森口稔著、ひつじ書房、2003年

非常勤講師(日本語担当) 都 築 順 子



本の題名を見てみると、作文の教科書のように思われるかもしれません。しかし、この本の中には、原稿用紙の使い方や句読点の打ち方、引用のしかたなどの説明は全くありません。まず、最初のページを見てみると、「お知らせのメール(同窓会について知らせる)」というタイトルがついていて、次のような文章が書いてあります。「久しぶり!! 元気?・・・(中略)・・・ところで、ゴールデンウィークの土曜に同窓会しない?・・・」これだけを見ると、本当に日本語を書くトレーニングの本なのかと疑いたくなりますね。ところが、その下に【問題】があって、

「同窓会のお知らせとしてこのメールに不足している情報をあげてください。」「このメールを読んだ人が混乱しそうな不必要な情報をあげてください。」と書いてあります。つまり、この本のおもしろいところは、まず、読む人の立場になって、文章を考えさせるところなのです。

文章を書くときに大事なことは、読む人のことをよく考えることです。読む人の立場に立って考えれば、どうやって文章を書くべきかがわかるはずで、それでも、具体的に何を書けばいいのかが、なかなか考えつかないものですね。それを気づかせるために、この本ではヒントが書かれています。そのヒントを頼りに問題に答えていくと、自然に何を書けばいいのかがわかるようになっていきます。先ほど例に挙げた「お知らせのメール」の場合では、問題を考えていくうちに、相手に知らせる必要がある情報と、知らせる必要のない情報を区別できるようになり、最終的には、相手にとって読みやすく、情報が正確に伝わる文章とは、どういうものかが理解できます。

文章例も、メールやメニューからレポート、就職のためのエントリーシートまでいろいろあります。どれも、皆さんが大学生活を送るのに必要なものばかりですね。この本を読んで、表現する力を磨いてみたいとは思いませんか。ぜひ皆さんにお薦めする一冊です。



私の外国語修業時代

文学部 下 野 正 俊

私の専門は（カントを主として）ドイツ哲学です。この分野の研究には、最低限でドイツ語の読解能力と英語での情報発信能力が必須とされます（本当はこれにラテン語、フランス語やあれもこれもと加わってくるのですが）。そう思い、これらの言語を学んできたその成果は、と省みれば、これはもう惨憺たるもので、本来、LL ニュースのような場所で原稿など書けた義理ではないのです。ですので、私の乏しい経験の中から二つほどを記すことで、今回はご勘弁願うことにいたします。

同時通訳（ごっこ）

ドイツ哲学とは言いながら、カント業界でも lingua franca としての英語は重要です。私も一時集中的に勉強しました。すると、ふとした事情から何回か日本語→英語の通訳ブースに入らなければならない羽目になってしまいました。あまり長くもないこの経験によって、私は鍛えられたと思います。その際には、心底幸運なことに、ある一流の同時通訳者に教えを請う機会に恵まれたりもしたのですが、だからといって、私の英語力がこれによって飛躍的に伸びたというわけではありません。事態はむしろ正反対で、持ち前の出たとこ勝負の性格が補強され、私は完璧主義から完璧に（！）解放されたのでした。口をついて出てくる言葉をつないで文章をでっち上げ、しゃべりまくるようになったわけです。まあ、プロの方々から見れば同時通訳「ごっこ」に過ぎないでしょうが、それでもブースの中は、教室の落ち着いた空間とは違い、なにせ切ったはったの、語学の「鉄火場」とでも呼ぶべき場所です。あらかじめブリーフィングを受けていた内容と全然別のことを発言者が語り始めても、通訳マイクの前ではせいぜい数瞬の沈黙しか許されないのですから（会社勤めの経験談をするとばかり思っていた人が、唐突に北海道の潜水夫の話をし始めた！ これは実体験です）。だとすれば、とにかく手持ちのなければならぬ知識をかき集めて、何か口走らなければならない。奇怪なインスピレーションを受けて話を逸らしまくってくれる相手に心の中で毒づきながら、それでもとにかく無音の時間を埋めていかなければならない。これは恐ろしいストレスである反面、いっそ

爽快なものでもあります。今ではもうブースから遠ざかっていますが、あの総毛立つような緊張感と高揚感とを懐かしく思い出すことがよくあります。そして、この切羽詰まってとにかくしゃべりまくる、ということが外国語を習得する上でどれほど有効な鍛錬であったかと、今更ながらに思い至るのです。

本を読むこと

他の言語については、こうした「鉄火場」をまだ経験してはいません。今のところ私は、語学修行として、軽めの小説を娯楽として楽しめるようにするというささやかな、しかし多くの先人が推奨してきた目標に向かって勉強することになっています。なお、この目標には、Tom Clancy や Ruth L. Ozeki の小説などという、知性の開発とはあまり縁のない書物をどれだけ読んでも（勉強という大義名分によって）自分を納得させられる、という利点もあります。専門の論文よりもこういった本をくつろいで読めるようになることの方が、本当はずっと難しいのですが、これができるようになれば、話す方も含めてある程度以上の力がつくことは確かです。この段階に近づいていると、まあ自惚れ半分に自認できるのは英語とドイツ語だけです、この先どれくらいの時間をこういうことに費やせるのか、はなはだ心許ない気がします。けれども、私は、例えばキケロの原文を、そのニュアンスの陰影にわたって味読してみたいし、端正な言葉で記されたベルクソンの文章を、その思考の曲折のままに追跡したいと望んでもいるわけです。かくして、私はこの先も、うろうろと雑書を読みながら年月を過ごしていくのだらうとも思います。

この方向で考えていくと、「楽しみを求める」という、「鉄火場で叩き上げる」というのとはまた違った外国語との接し方が見えてくるようにも思います。インターネットの某巨大掲示板の外国語「板」などを見ていると、ただ知的な娯楽として外国語を勉強している人々を多く見かけることができ、外国語学習の一つの分厚い層がアカデミズムとも叩き上げ主義とも異なるところで育っているのを実感します。私の外国語との接し方にも、幾分かこの人たちと同様に余裕が生じてきた、ということなのかもしれません。

LL Tea Time

カナダ留学

国際コミュニケーション学部4年

瀬 口 雄 介

私は大学入学後、中国の将来性などに魅力を感じ中国語を専攻していましたが、大学3年の「就職活動」を意識しはじめた夏休みに、友人と行ったキャンプ先で20人程の英語圏の学生達に出会いました。私の友人の内2人は留学経験があり、なんとなく会話もスラスラ、私はその横で聞き取りに専念するものの何を言っているのかわからず、非常に悔しい思いをしたことは未だに忘れられません。それがキッカケとなり、大学を1年間休学し、昨年6月からの9ヶ月間、カナダのバンクーバーへ語学留学に行ってきました。

この留学は、なにを隠そう私にとっては初めての海外渡航であり、不安も大きければ期待も大きかったのですが、いざむこうで暮らし始めると、初めての海外ということもあり、全てが新鮮でした。赤信号でも右折する車（決して違反ではない）、驚くほどのコーヒESHOPの数々（交差点をはさんでスターバックスが2店舗あったりする。留学前はカフェなんて無縁でしたが、おかげでスタバにも慣れました）、しかしなんととってもすばらしかったのは、都市と自然との共存です。ダウンタウン、街の中心部でもリスなどの野生小動物をみかけることがあった、といえはその凄さを少しは分かってもらえるかもしれません。

休日はよく映画館に出かけました。映画は料金も日本に比べると格段と安いですし、もちろん日本語字幕、英語字幕もないので、リスニングのいいトレーニングになりました。それと、いくつかの作品は日本よりもかなり早い時期に劇場公開となります

ので、少しだけ得をした気分になれるのも、海外にいるものの特権だと思います。

思い出は色々ありますが、1番の思い出は他国の学生達と共に企画したナイトクラブでのパーティーです。国境、人種すべてを越えて、音楽を共に楽しむというコンセプトのもとに準備を進め、会場の盛り上がりで大満足、一生忘れる事の出来ないパーティーとなりました。

さて、肝心の勉強の方はといいますと、私の場合それほど英語の力があつたわけでもないので、ESL School と呼ばれる語学学校に通いました。午前中は9時から12時、午後は13時から14時30分までのコースで、月ごとにレベルに応じて授業を選択することができ、長期で通う事も考えて、選択授業数の豊富なESLを選びました。ただ、もし語学留学でESLに通う事を考えている方がいるなら、日本で学校を決めることはあまりお勧めできません。どういふことかといいますと、ESL School の数というのは非常に多く、ほとんどの学校で無料体験レッスンを受講できます。現地でしか手にする事の出来ない情報もたくさんありますので、現地でいくつかレッスンを受けてから学校を決定し、その後現地でスチューデントビザの発行手続きをとったほうが自分にあつたESLを探す事が出来ると思います。また、毎月なにかしらテストを受験することをお勧めします。私は、毎月TOEICを受験しましたが、英語力の進歩を見るおおよその目安として使うことができますし、目標をたてやすく勉強のはげみになり、最終的に目標点750を取得することができました。この自信をささえにすると同時に、今後とも自分に対する厳しさを忘れず、英語力の向上、また、本来の専攻言語である中国語にも力を入れたいと思っています。

語学留学で得たものは「語学能力」だけではありません。視野もひろがります、価値観も変わります、自分自身成長もできます。ワールドワイドな友人ができます。本当にいい経験をたくさんすることができました。またいつか海外で暮らせたらと思います。

英国留学

国際コミュニケーション学部4年

大野 斉子

私は昨年英国、スコットランドの首都にあるエディンバラ大学に聴講生として留学をしていました。エディンバラは歴史的、文化的、政治的にたいへん重要な街です。また古く美しい建物が並び、人もみな穏やかで住み心地の良い場所でもあります。特に、街の中心に位置するエディンバラ城は夢のように素敵で、気分が落ち込んでいる時でもお城を見ながら散歩をすると心が和みます。毎年8月には、音楽、映画、フリンジ（小劇団による劇）などのフェスティバルが行われ、世界中から観光客や大道芸人が集まります。私は特にフリンジを観るのが大好きで毎晩のように出かけていました。

そんな素敵な街にあるエディンバラ大学で、私は東アジア学を勉強する機会を得ました。何度もオフィスに電話をしたり、手続きで苦労をしたりしたので、受け入れが決定した時は本当にうれしかったです。エディンバラ大学は1583年創立でアーサー・コナン・ドイル、ジェームス・マクスウェルなどを輩出した由緒ある大学です。アジア学の研究も盛んで、スコットランドで唯一日本語学の学位が取得できます。私は東アジア文明研究1、2と中国語の授業を履修していました。中国語の授業では、数少ないアジア人ということで授業中何度も先生に指されたりもしましたし、中国語を英語に訳させられたりといへんなこともありました。でもクラスメートは親切だし、日本での教え方との違いを観察したりして、楽しく有意義な時間を過ごせました。違いの一つとしては、漢字ライティングのチュートリアルがあることです。書き取りの練習や、漢字のゲームなどをやりました。漢字の文章を見て「どこまでが一つの文字であるか教えて欲しい」と尋ねられたり、「エジプトの古代文字を読解しているみたい」と言

われたりと、日常で漢字を使用している日本人の私にとっては、とても興味深く感じられました。ただ漢字を書けるだけで「かっこいい」と言われるのは不思議なことでした。

東アジア文明の授業では、中国と日本の文化や歴史について学びます。講義と授業のまとめの発表や討論などを行うクラスがあり、1では日本史は江戸末期まで、中国史は清中期までを学び、2ではそれ以後を学びます。中国史の授業では知識不足に加えて、名称、人物名共に英語読みで進められることもあってとてもたいへんでした。例えば、「清」は「Ch'ing」、「国民党」は「KMT (Kuomintang)」または単に直訳して「National People's Party」といったようです。もちろん英語で講義を聞きながら同時にノートを取るのも、二千語以上のエッセイ課題も、自分の意見を相手に理解してもらうことも、想像していた以上にたいへんなことでした。そんな時、友達が授業のまとめをコピーしてくれたり、発表の際一緒にノートを取ってくれたりして助けてくれました。友達のアドバイスなしでは、あれだけきつい授業は乗り越えられなかったでしょう。また、自分たちの文化や歴史を日本とは違う視点、西洋の視点で見ることができたことは勉強になりました。日本人、アジア人として意見を求められることも多く、普段意識していない事柄の英語での説明や、筋道を立てた反論、特に歴史認識に対する反論は難しかったです。明治維新の是非や天皇制の歴史などを討論することは、困難であると同時に興味深いことでもありました。

この他に、特別に許可をいただいて1、2年生の日本語の授業をアシスタントとして聴講したりもしていました。外国語として日本語を見ることの面白さや不思議さ、英語と日本語の比較も学ぶことが出来ました。授業中、生徒さんの様子を見回ったり、練習相手になったりなどした経験は、かけがえのない思い出になっています。以上述べたことはほんの一部です。今ふりかえってみて、私の英国留学は最高に充実した、また人生で一番発見や考えることが多くあった、内容の濃い1年だったと言うことができます。

フランス留学体験記

文学部4年

栄 嶋 由 香

私は、前から留学をしたいと思っていました。海外セミナーに参加して、確実にフランスに対する気持ちは膨らんでいて、ぜひまた行きたいと強く思っていました。そして、派遣留学生になるために試験も受けました。結果は不合格でしたが、なぜかこの時、私は少しほっとしていました。両親だけでなく祖父母からも留学を反対されていたので、両親の反対を押し切ってまで行くべきなのかと後ろ向きな気持ちになっていたからだと思います。しかし、その一方でまだ留学を諦めきれないでいた部分もあります。一年間ではなくて半年間の留学もできることを知り、なんとか両親を説得しようと毎日話し合いました。留学する私を気持ちよく送り出して欲しかったため、両親の理解を得たかったのです。最終的には、なんとか認めてくれましたが、出発の日まで親が私を心配に思う気持ちが伝わってきていました。私自身もこれでいいのか悩んでいましたが、今は行けてよかったと思っています。

フランスでの生活は、海外セミナーでお世話になった方がまた受け入れてくれるということで、全く不安はありませんでした。私のホストファミリーは二人子供がいるのですが、二人とも独立して家を出ていて、たまに週末に帰ってきます。私が空港に着いたときは、お父さんとお母さんの二人で迎えに来てくれていました。半年ぶりに会うので、私は緊張していました。そのうえ、二人は私のフランス語力が成長していると思っていらしく、すごい速さで話しかけてきたので、圧倒されていました。今振り返ると常に押されっぱなしで過ごしていましたが、彼らがいつも私のことを考えてくれたことに感謝しています。例えば、きれいに発音できるようにと何度も一緒に発音してくれたり、私に合わせてアニメの映画と一緒に見に出かけたり、いろんな人

のフランス語を聞くほうが良いから、と町内のお食事会や誕生日パーティー、ダンスパーティーへ私を連れていってくれました。大学の授業が全て終わり、一ヶ月間友達と二人でLYONの語学専門学校へ行くことを話したときも、向こうでの生活で必要になるだろうと、バスタオルやスリッパなどを貸してくれました。また、もし泊まる寮がなくてはならないとインターネットで全ての寮の電話番号と住所を調べてくれました。案の定、LYONに着いてから、学校の寮が空いていない事を知り二日間スーツケースをゴロゴロと動かしながら、その日泊まるホテルを探し、これから泊まる寮を探しました。この間ホストファミリーが調べてくれたリストの端から順に電話をかけていていましたが、断られる一方で寮探しは私たちにとってとても苦しく、それまでの「誰かが何とかしてくれる」といった甘えた気持ちをたたき直された出来事になりました。ようやく受け入れてくれる寮を見つけたのは、そのリストの最後からひとつ手前の寮でした。これで決まらなかったらどうしたらいいのかと絶望的だったので、ホストファミリーにとっても感謝しています。

しかし、半年間ずっと生活をしていると楽しいことばかりではありません。きちんとしたフランス語が話せないために、話の食い違いが起きることは何度もあり、気まずい空気の中で過ごしたことも決して少なくはありません。しかし、今では「フランスのお父さんお母さん」と呼んでいるほどで、楽しいこともそうでないことも出来事の全てが私の大切な思い出になっています。

このようにいい経験として残っているのは、私が自分の部屋にいたのは寝る時だけで、なるべく居間にいてホストファミリーがしていることを一緒に手伝うようにしていたことと、ホストファミリーがいつも私を気にかけてくれたおかげだと思っています。また、帰国直前に、ホストファミリーから、私が何に対しても興味を示して体験したことが留学を良いものにした、と言われました。私にとっては、何もかもが新鮮で興味を持たずにはいられなかっただけのことで、自分がしてきたことを誉められて自信を持つことができました。今は今の生活を良いものにするために、興味を持ったものには積極的に挑戦することを心掛けています。

中国映画撮影参加記

経済学部 4年

近 藤 誠

私は2003年2月から1年間(途中SARSの為、帰国)北京語言大学に留学し、その間中国映画の撮影に参加するチャンスを得ました。私が参加したのは、戦争映画で、時は1943年の山東省、日本と中国が戦争をしていた頃、日本兵である太郎(筆者)が、現地の女の子を好きになるという物語でした。撮影は、山東省で3週間行われました。その中で感じたことのいくつかを書いてみたいと思います。

芸達者な中国の映画人

まず3週間を通して感じたことは、監督をはじめ、中国の人たちが非常に優しく私に接してくれたことです。私は素人ですから、演技一つ一つを、優しく詳しく教えてくれました。私が感じた中国映画人の特徴は、だれもが芸を二つは持っているということです。たとえば、バスを運転できたり、武術ができたり、馬に乗れたり、本当にみんな器用でした。そして一番びっくりしたのは、中国映画にはよく見られるパターンですが、監督自ら、出演するということでした。



ヒロインと共に



撮影風景 左端(筆者)

時間観念が違う

中国の人々といっしょに生活して、これが大陸のかなと思ったのは時間に対するおおらか(ルーズ?)さです。出発は朝7時と決めていても必ず7時半になってしまうし、朝から準備をしても、撮影開始時刻が昼12時を過ぎることもありました。それが毎日続くのです。そんな具合ですから、撮影が予定通りに進むはずがありません。1日の予定の半分も撮影できないのです。できなかった分は翌日に持ち越しですが、翌日もまた同じことの繰り返しです。こうした悪循環が3週間続いたのです。

契約観念の違い

もう一つ感じたことは契約観念の薄さです。当初の私の契約は3週間でしたが、案の定、契約通りに行かず、「撮影期間が延長になるので北京には帰らないでくれ。」といわれました。実は私は学校を休んできており、これ以上休むわけにもいかなかったもので、「北京には絶対に帰りたい。でも、撮影は続けたいから、土日だけ撮影に協力します。」と話をつけて、何とか撮影を続けました。撮影班に原因は山ほどあるのに、彼らは全くそれを認めず、結局、しわ寄せが私たち「俳優」にかかってくるのです。彼らにとって契約書はただの紙に過ぎないのです。ケースバイケースと言えば、聞こえもいいかも知れませんが、その様なことが日常茶飯事でした。日本人にとっては、紙切れ一枚の契約が全てです。こんな時、自分が日本人であると自覚したのと同時に、中国人との契約観念のギャップに驚きました。

中国人の反日感情

撮影を通じ、中国人の反日感情というものも身を以て感じました。恥ずかしいことですが、私は中国に留学するまで、日中戦争の時に日本が中国にできたことをあまり知らなかったのです。撮影で、私が当時の日本兵の軍服を着ていた時の事です。地元の農民の子供と話をしようと近づいても、恐がって逃げるのです。なぜ恐がるのかとまわりの大人に聞くと、学校で昔の日本兵がやった残虐なことを教えているからだそうです。それは「三光政策」といって、「焼光」(焼き尽くす)「殺光」(殺し尽くす)「搶光」(奪い尽くす)ということをやった日本軍がしたそうです。また、日本兵は「日本鬼子」と呼ばれています。この事実を知った時、私は胸がとても苦しくなりました。

日本と中国の過去に目が

この映画撮影を通して、私は、色々考え方が変わりました。今の中国を好きになると共に日本と中国の歴史、そして戦争にも興味がわきました。撮影が終わり、北京に戻った私は、今まで見向きもしな



出演者達と撮影現場にて

かった戦争の映画を意識的に見るようになりました。その中で是非皆さんに一度見ていただきたいのが、「鬼子来了! (邦題: 鬼が来た!)」です。http://www.gaga.ne.jp/onigakita/ この映画は、2000年カンヌ国際映画祭グランプリを受賞した映画です。当時の様子が良く分かります。中国を理解する上で戦争は切っても切り離せないことなので、これからもっと勉強したいと思いました。

筆者が出演した中国映画！

『金都 1943』 90分、中国語字幕

監督：王曉民

脚本：唐錫彤、王敏

主演：劉国光、張萌、近藤誠 他



第二次大戦中の1943年、日本軍占領下の中国山東省招遠市が舞台。招遠市には昔から金とれる山があり、日本軍がその金に目をつけ、中国人を使って金を掘り出していた。筆者は日本軍の兵隊の一人として出演。金をめぐる争いが続く中、彼は日本の恋人に良く似た中国人女性と恋に落ちるが、最後には衝撃的な結末が、……。

ビデオ『鬼が来た!』 140分、日本語字幕

監督：美文

主演：美文、香川照之

第二次大戦末期の中国、日本軍占領下の華北の農村が舞台。村人たちと日本兵の奇妙な絆と、やがて一転する狂気の結末までをユーモアと衝撃で描いた戦争人間ドラマ大作。

※ 両作品とも LL 自習室にあります。(3号館1F)

公開講座「言語」2004 プログラム

主催：愛知大学言語学談話会

共催：愛知大学語学教育研究室・愛知大学同窓会

後援：豊橋市教育委員会・名古屋市教育委員会

<11月以降の予定>

2004年11月6日（土）

「初級・中級者のための発信型学習英和辞典とコーパス」

塚本 倫久

（愛知大学国際コミュニケーション学部助教授）

2004年12月4日（土）（2講義開催）

「アメリカ人が経験する日本と日本語」

塚本 鋭司

（愛知大学国際コミュニケーション学部助教授）

「英語の中の日本語」

早川 勇

（愛知大学経済学部教授）

2005年1月8日（土）（2講義開催）

「韓国の現代作家李外秀の小説における表現について」

田川 光照

（愛知大学経営学部教授）

「なぜ韓国のキリスト教は成功したのか」

常石 希望

（愛知大学法学部教授）

時間：午後2時30分～4時30分

場所：愛知大学車道校舎

〒461-8641 名古屋市東区筒井二丁目10-31

TEL052-937-8111（代表）

地下鉄 桜通線「車道」駅 1番出口右折すぐ

◎どなたでも参加できます。（登録不要）

聴講無料

外国語検定試験奨励金について

語学教育研究室では外国語検定試験合格者に奨励金（図書券）を贈る自主学習支援の制度を設けています。2003年度は延べ104名の学生に奨励金が贈られました。

2004年度も下記により受付しますので合格者は申し出てください。

記

1. 対象学生

愛知大学豊橋校舎学生及び短大生（大学院生、オープンカレッジ生、科目等履修生、研究生は除く）

2. 奨励基準

追って教務課およびLL自習室の掲示板に示します。

3. 受付期間

2005年1月15日(土)～1月31日(月)

4. 手 続

学生証および合格通知書を3号館LL自習室カウンターまで持参し、申し出る。

5. 奨励の対象

2004年2月～2005年1月の間に合格した分に限る。

3号館 LL 教室での「無線ラン」利用について

3号館 LL 教室で「無線ラン」が利用できます。パソコンを持参し、LL 自習室受付で利用申し込みをしてください。（3号館1F）

利用時間：LL 教室で授業がない時間で、LL 自習室を開室している時間内。

詳細は受付で聞いてください。

（注）無線ラン利用は、事前に情報メディアセンターの「無線 LAN 講習会」受講が必要です。